2023年12月 現在

Fujitsu Software
Interstage List Creator Standard Edition V11.1.0

本商品は、ビジネス分野で必須の罫線/網がけを使った本格的な帳票を簡単に設計し、ノンプログラミングで帳票を出力するための機能を提供します。本商品は、ローカル帳票出力環境、および、別コンピュータのInterstage List Creator Standard Edition/Enterprise EditionおよびWorkstation機能と連携した大量分散帳票出力環境の構築に適しています。

Copyright 2023 Fujitsu Limited

適応機種　概要

- **サーバ**

  PRIMEQUEST 4000シリーズ / PRIMEQUEST 3000/2000シリーズ / マルチベンダーサーバ・クライアント / PRIMERGY / FUJITSU Hybrid IT Service FJcloud-O IaaS / FUJITSU Hybrid IT Service for Microsoft Azure 仮想マシン / パブリッククラウド

- **Workstation機能(32bit)**

  FMV / マルチベンダーサーバ・クライアント

- **Workstation機能(64bit)**

  FMV / マルチベンダーサーバ・クライアント

Copyright 2023 Fujitsu Limited

適応OS　概要

- **サーバ**
  Windows Server 2022(64-bit) / Windows Server 2019(64-bit) / Windows Server 2016(64-bit)

- **Workstation機能(32bit)**
  Windows 11(64-bit) / Windows 10(64-bit) / Windows 10

- **Workstation機能(64bit)**
  Windows 11(64-bit) / Windows 10(64-bit)

Copyright 2023 Fujitsu Limited

機能説明

1. 帳票フォーマッティング機能

帳票定義と入力データを指定するだけで、自動的に帳票レイアウトにフォーマッティングして、帳票を出力します。帳票を出力するために、新たにアプリケーションを作成する必要はありません。入力データは、XML形式、テキスト形式または、CSV形式 のため、入力データを生成するアプリケーションサーバの機種を問いません。

さらに、項目属性切替え機能により、帳票定義情報に定義されている属性情報を、帳票出力時に置き換えて出力することが可能になります。

2. データベース連携

Microsoft SQL Server Integration Servicesと連携してプログラムすることなしにデータベースからデータを抽出し、帳票出力を可能にします。

また、SSISパッケージの定義時に、変換先アダプタとしてList Creatorを選択することにより、GUIで簡単にデータ抽出、加工、帳票出力を定義、実行することができます。

3. 多様な分散帳票出力機能

(1) リモート帳票出力機能

帳票出力サーバへの大量帳票出力ができます。また、アプリケーションサーバからの要求で大量帳票出力ができます。これにより、離れた場所にあるサーバへの帳票出力や、アプリケーションサーバの負荷を分散した帳票出力環境を構築できます。

(2) コネクタ連携機能

Interstage List Creator Connectorと連携することで、アプリケーションサーバからの要求により生成された帳票データを、要求元であるアプリケーションサーバに転送する(戻す)ことができます。これにより、離れた場所にあるサーバへの帳票出力や、アプリケーションサーバの負荷を分散した帳票出力環境を構築できます。

4. 各種インタフェースを実装

各種アプリケーションサーバに対応するためのインタフェースを提供します。提供するインタフェースは、.NET, Java, OCX(VB), COBOL, WebサービスのAPIおよび、コマンドです。

5. Interstage商品との連携

(1) 高信頼印刷

Interstage Print Manager Standard Editionと連携することで高信頼印刷を実現できます。例えば、拠点で動作するInterstage List Creator Standard Editionからの印刷エラー、印刷完了をセンターで稼動する業務アプリケーションまで通知することが可能です。

(2) 電子帳票保存

Interstage List Worksと連携することで電子帳票保存が可能です。

(3) FAX送信

Interstage Print Manager Standard Editionおよび他社FAX連携製品(*1)と連携することで、FAX送信が行えます。

*1：連携パートナープログラムで連携ソリューションとして登録されている他社FAX連携製品に限ります。

連携パートナープログラムで連携ソリューションとして登録されている他社FAX連携製品については、関連URLを参照してください。

6. セキュリティ機能

どのような帳票出力が行われたかは全て監査証跡ログに採取されます。また、出力する帳票に所有者や日時などを特定するためのID印刷が可能です。

Copyright 2023 Fujitsu Limited

これらの機能により、情報漏えい問題が発生した等、帳票の追跡が必要な場合、迅速な対応が可能になります。

7. Interstage List Creator Workstationの同梱

Interstage List Creator Standard Edition / Interstage List Creator Enterprise Editionに、Interstage List Creator Workstationが同梱されています。

これにより、クライアント環境において、下記のWorkstation機能が使用できます。

1. 帳票フォーマッティング機能
2. 多様な分散帳票出力機能
3. 各種インタフェースを実装
4. Interstage商品との連携(高信頼性印刷)

8. 多言語対応

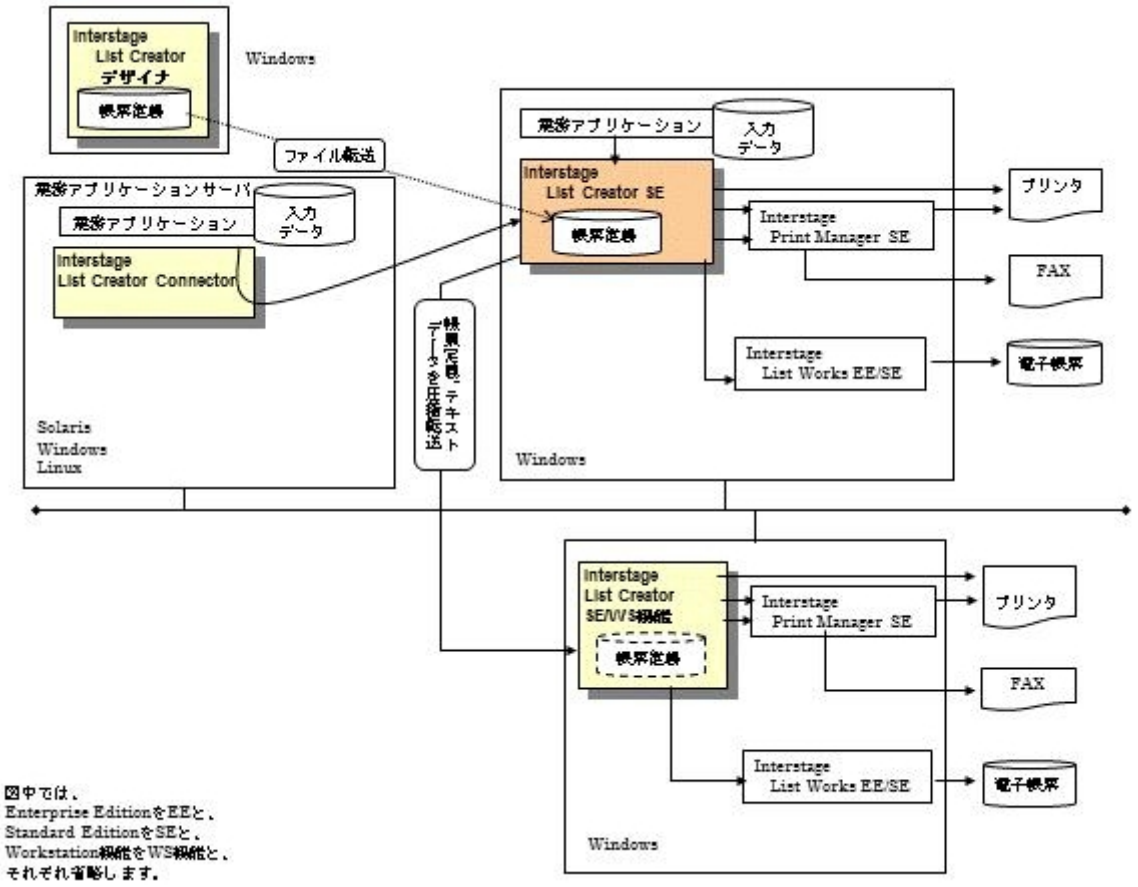
各国の環境や言語にあわせた帳票を（多国語帳票）を設計・出力できます。

以下の言語に対応しています。

- 日本語/英語/中国語(簡体)/中国語(繁体)/韓国語
- ポルトガル語/フランス語/スペイン語/ドイツ語/ロシア語
- タイ語/ベトナム語/チェコ語

Copyright 2023 Fujitsu Limited

システム/機能構成図



Copyright 2023 Fujitsu Limited

V11.0.0からV11.1.0の機能強化項目は以下のとおりです。

1. 帳票出力機能の強化

- 帳票出力時のオプション(タイトルなど)にJIS第三水準/第四水準漢字を設定できるようになりました。
- 特定条件のバーコードを含む帳票の印刷時に、スプールファイルのサイズを削減できるようになりました。
- 印刷時にKOL5形式のオーバレイの文字サイズを補正できるようになりました。

Copyright 2023 Fujitsu Limited

標準添付品

- **オンラインマニュアル**

  ・マニュアルについては購入方法を参照してください。

- **その他の添付品**

  ・なし

Copyright 2023 Fujitsu Limited

商品体系

【メディア】

・Interstage List Creator Standard Edition メディアパック(64bit) V11.1.0

【サブスクリプションライセンス／サポート】

[サブスクリプションライセンス／サポート(月額払い)]

・Interstage List Creator Standard Edition プロセッサライセンス for Windows (SL&S)

[サブスクリプションライセンス／サポート(まとめ払い)]

・Interstage List Creator Standard Edition プロセッサライセンス for Windows (SL&S) 7年

Copyright 2023 Fujitsu Limited

購入方法

1. メディアパックについて

メディアパックは、媒体（CD/DVD等）のみの提供です。使用権は許諾されておりませんので、別途、ライセンスを購入する必要があります。初回購入時には、最低1本のメディアパックとサブスクリプションライセンス／サポートを同時にご購入ください。

本メディアパックの購入でバージョンアップ／レベルアップすることはできません。

バージョンアップ／レベルアップする場合は本メディアパックを購入せず、アップグレード権を行使してメディアを入手してください。

2. プロセッサライセンスについて

プロセッサライセンスは、本商品をインストールするサーバに搭載されているプロセッサ数に応じて以下の通りに必要となるライセンスです。

・シングルコアプロセッサの場合は、1プロセッサあたり1本の購入が必要です。

・マルチコアプロセッサの場合は、コアの総数に特定の係数を乗じた数（小数点以下端数切上げ）分のライセンスの購入が必要です。

マルチコアプロセッサにおける係数については、「関連URL」に記載の 「ソフトウェア：富士通（インフォメーション&ダウンロード）」内、「ライセンスについて、くわしく知る」 を参照ください。

3. クラスタシステムで運用する場合の購入方法について

・1対1運用待機形態で運用する場合は、2ノードを1システムと考えて、1システムに本商品を1つ購入することで使用することができます。

・運用待機形態以外で運用する場合は、各ノード単位に、本商品を購入する必要があります。

4. Workstation機能について

Interstage List Creator Standard Editionには、Workstation機能が同梱されており、接続するクライアントに対してインストールフリーです。

5. V7.0以降からのバージョンアップ／レベルアップについて

V7.0以降の本商品をお持ちの場合は、有償サポート・サービス「SupportDesk」のサービスの一環として、最新バージョン／レベルを提供いたします。また、32ビット商品から64ビット商品への切り替えも可能です。（お客様からのご要求が必要です。）

「SupportDesk」を導入されていない場合は、新バージョン／レベル商品を改めてご購入頂く必要があります（価格の優遇はございません）のでご注意ください。

なお、「SupportDesk」の詳細については、弊社営業/SEにお問い合わせください。

6. V6.0以前からのバージョンアップについて

V6.0以前の本商品をお持ちの場合は、弊社営業/SEにお問い合わせください。

7. オンラインマニュアルについて

本商品には、以下のオンラインマニュアルが添付されています。

・マニュアル体系と読み方

・リリース情報

・解説編

・帳票設計入門ガイド

・帳票設計編

・オーバレイユーティリティ

・環境設定・帳票運用編

Copyright 2023 Fujitsu Limited

・アプリケーション作成ガイド
・PDF変換機能編
・Excelファイル出力機能編
・TIFF出力機能編
・COBOLアプリケーション連携機能編
・帳票Webサービス機能編
・SQL Server Integration Services 連携機能編
・ERP連携編
・トラブルシューティング集
・メッセージ集
・用語集

8. 購入時の特約事項

サブスクリプションライセンス／サポートの契約におけるライセンス使用条件の特約事項について記載します。

【V11.1.0】

(1) 運用待機構成時

お客様が対象プログラムをインストールするコンピュータが、常時対象プログラムが稼働するコンピュータ（以下「運用系コンピュータ」といいます）と、運用系コンピュータが障害などの理由により使用できない場合にのみ対象プログラムが稼働するコンピュータ（以下「待機系コンピュータ」といいます）により構成されたシステムの場合は、1つのシステムを1台のコンピュータとみなします。その場合、お客様は、サブスクリプションライセンス／サポート製品のサービス仕様書記載の第3項「サービスの内容」第（1）号により運用系コンピュータに対象プログラムをインストールして使用することに加え、待機系コンピュータに対して、サブスクリプションライセンス／サポート製品のサービス仕様書に定めるライセンス数分、対象プログラムをインストールして使用することができます。

(2) 本商品に含まれるコンポーネントについて

対象プログラムに含まれる機能の一部である「Workstation機能」については、お客様はサブスクリプションライセンス／サポート製品のサービス仕様書記載の第3項「サービスの内容」第（1）号にかかわらず、日本国内において複数のコンピュータにインストールして使用することができます。

(3) オープンソースソフトウェア等のライセンス条件

本サービスのうち、富士通が別途定めるオープンソースソフトウェア等（以下「OSS」という）については、サブスクリプションライセンス／サポートのサービス仕様書に加えて、ソフトウェア説明書に記載されるライセンス条件が適用されます。ソフトウェア説明書に記載されるライセンス条件にサブスクリプションライセンス／サポートのサービス仕様書と異なる定めがある場合は、ソフトウェア説明書に記載されるライセンス条件の定めが優先して適用されるものとします。

【V11.0.0】

(1) 運用待機構成時

お客様が対象プログラムをインストールするコンピュータが、常時対象プログラムが稼働するコンピュータ（以下「運用系コンピュータ」といいます）と、運用系コンピュータが障害などの理由により使用できない場合にのみ対象プログラムが稼働するコンピュータ（以下「待機系コンピュータ」といいます）により構成されたシステムの場合は、1つのシステムを1台のコンピュータとみなします。その場合、お客様は、サブスクリプションライセンス／サポート製品のサービス仕様書記載の第3項「サービスの内容」第（1）号により運用系コンピュータに対象プログラムをインストールして使用することに加え、待機系コンピュータに対して、サブスクリプションライセンス／サポート製品のサービス仕様書に定めるライセンス数分、対象プログラムをインストールして使用することができます。

(2) 本商品に含まれるコンポーネントについて

Copyright 2023 Fujitsu Limited

対象プログラムに含まれる機能の一部である「Workstation機能」については、お客様はサブスクリプションライセンス／サポート製品のサービス仕様書記載の第3項「サービスの内容」第（1）号にかかわらず、日本国内において複数のコンピュータにインストールして使用することができます。

Copyright 2023 Fujitsu Limited

関連ソフト

1. 帳票の設計を行う場合

帳票の設計を行う場合は、以下のソフトウェアが必要です。

・Interstage List Creator デザイナ V9以降

また留意事項があります。下記を参照してください。

・留意事項「帳票設計環境と出力環境でのバージョン混在時の運用について」

2. 電子帳票の保存を行う場合

電子帳票の保存を行う場合は、以下のいずれかのソフトウェアが必要です。

・Interstage List Works Standard Edition/Enterprise Edition V10.3.2以降

3. 印刷管理を行う場合、またはFAX送信を行う場合

印刷管理を行う場合またはFAX送信を行う場合は、以下のソフトウェアが必要です。

・Interstage Print Manager Standard Edition V9.1.3

FAX送信を行う場合、利用できる他社FAX連携製品は、連携パートナープログラムで連携ソリューションとして登録されている他社FAX連携製品に限ります。

連携パートナープログラムで連携ソリューションとして登録されている他社FAX連携製品については、関連URLを参照してください。

4. 外字を使用する場合

外字を使用した帳票、および入力データを使用する場合、以下の製品が必要です。

・Charset Manager Standard Edition Agent V9.5.1以降

JEF拡張文字の明朝フォントを使用する場合

・JEF拡張漢字サポート V8.0以降

JEF拡張文字のゴシックフォントを使用する場合

・JEFゴシックフォント V2.1L10以降

5. 各種インタフェースを使用する場合

(1) Javaインタフェースを使用する場合は、以下のソフトウェアが必要です。

なお、32ビットのJavaは使用できません。

・Java SE 6(*1)

・Java SE 7(*1)

・Java SE 8(*2)

・Java SE 11(*2)

・Java SE 17(*3)

・Java SE 21以降(*3)

*1：富士通製Java SEを使用する場合のみサポートしています。

*2：Oracle Java SE、および富士通製Java SEをサポートしています。

*3：Oracle Java SEをサポートしています。

(2) .NETインタフェースを使用する場合は、以下のソフトウェアが必要です。

・Microsoft .NET Framework 3.5 SP1(x64) (*1)

・Microsoft .NET Framework 4.6.2以降(x64) (*1)

・.NET 6以降(x64) (*2)

Copyright 2023 Fujitsu Limited

*1：アプリケーション作成時のフレームワークに関わらず必要です。
*2：アプリケーション作成時のフレームワークとして、.NET 6以降を選択した場合に必要です。

(3) 帳票Webサービスインタフェースを使用する場合は、アプリケーションサーバ側に以下のソフトウェアが必要です。
・Microsoft .NET Framework 3.5 SP1
・Microsoft Internet Information Service 10.0
・Interstage Studio V11以降、またはMicrosoft(R) Visual Studio 2017

(4) COBOLアプリケーション連携機能を使用する場合は、以下のソフトウェアが必要です。
<アプリケーションサーバ側>
以下のソフトウェアが必要です。
・COBOLインタフェースを利用する
- NetCOBOL(64bit) V10.1.0 以降
・COBOLアプリケーションを開発する
- NetCOBOL Enterprise Edition 開発パッケージ(64bit) V10.1.0 以降(*1)
・COBOLアプリケーションを実行する
- NetCOBOL Enterprise Edition サーバ運用パッケージ(64bit) V10.1.0 以降(*1)
*1：MeFtコンポーネントを含む製品が必要です。
<帳票出力サーバ側>
以下のいずれかのソフトウェアが必要です。
〔PRIMERGY-Windows〕
・Interstage List Creator Enterprise Edition V9以降
〔Solaris OS〕
・Interstage List Creator Enterprise Edition V9以降
〔PRIMERGY/PRIMEQUEST-Linux(64bit)〕
・Interstage List Creator Enterprise Edition V9.1.0以降

(5) カスタムコントロールを使用する場合は、以下のソフトウェアが必要です。
・Microsoft Visual Studio 2013以降

6. データベースと連携し、データを抽出する場合

SSIS(Microsoft SQL Server Integration Services)連携機能を使用する場合は、以下のソフトウェアが必要です。
<業務データベースサーバ側>
・Microsoft SQL Server 2017 Enterprise Edition Integration Services、またはMicrosoft SQL Server 2017 Standard Edition Integration Services
・Microsoft Visual Studio 2017
・SSDT for Visual Studio 2017
<アプリケーションサーバ側>
Microsoft SQL Server 2017 Enterprise Edition Integration Services、またはMicrosoft SQL Server 2017 Standard Edition Integration Services

7. Systemwalker Centric Managerと連携して監査証跡ログを一元管理する場合

<運用管理サーバ側>

Copyright 2023 Fujitsu Limited

Systemwalker Centric Manager Enterprise Edition V15.2.1 以降、またはSystemwalker Centric Manager Standard Edition V15.2.1 以降

<帳票出力サーバ側>

Systemwalker Centric Manager Enterprise Edition V15.2.1 以降、またはSystemwalker Centric Manager Standard Edition V15.2.1 以降

Copyright 2023 Fujitsu Limited

動作保証周辺機器

1. プリンタ

本商品は、Windows システムに接続されるプリンタ装置に出力できます。

2. 負荷分散装置

負荷分散装置使用時は、以下のIPCOMを動作保証します。

・IPCOM EX2-1100

・IPCOM EX2-3200

・IPCOM EX2-3500

Copyright 2023 Fujitsu Limited

留意事項

1. Windows サーバOS (64-bit)上での動作

本商品は、以下のOS上で、64ビットアプリケーションとして動作します。

- Windows Server 2016(64-bit)
- Windows Server 2019(64-bit)
- Windows Server 2022(64-bit)

2. WindowsデスクトップOS(64-bit)上での動作

Workstation機能(32bit)は、以下のOSのWOW64(注)サブシステム上で、32ビットアプリケーションとして動作します。

- Windows 10(64-bit)
- Windows 11(64-bit)

注：Windows 32-bit On Windows 64-bit

Workstation(64bit)機能は、以下のOS上で64ビットアプリケーションとして動作します。

- Windows 10(64-bit)
- Windows 11(64-bit)

3. Windows Server OSでの留意事項

(1)帳票Webサービス機能は、Windows Server 2022、Windows Server 2019、およびWindows Server 2016に標準搭載されている.NET Framework4.8、.NET Framework4.7、および.NET Framework4.6に対応していません。使用する場合は、Windows Updateから.NET Framework 3.5 SP1をダウンロード/インストールしてください。

(2) Windows Server 2016以降で印刷中にOSのスプーラから、印刷の取り消しを行うと、List Creatorから出力されるエラーがID：1050ではなく、ID：1299のエラーが通知される場合があります。

4. Windows 10以降でWorkstation機能を使用する場合の留意事項

- フォントのリンクの差異により、以下のコードを印刷した場合、Windows8.1とWindows10以降で結果が異なる場合があります。このため、以下の未定義文字は使用しないでください。

Copyright 2023 Fujitsu Limited

	0x00～0x1B	0xC898（UTF-8） 0x0218（UCS2）
Windows8.1	空白	中点
Windows10 以降	中点または文字	文字

5. 排他製品について

本商品の排他製品に関する情報は、弊社営業/SEにお問い合わせください。

6. 帳票設計環境と出力環境でのバージョン混在時の運用について

(1) 旧バージョン Interstage List Creator デザイナで作成した帳票を、新バージョン製品で帳票出力する場合

旧バージョンのList Creator用に作成した帳票は、新バージョンのList Creatorでそのまま使用できますが、以下の指定がある帳票は、新バージョンのList Creatorでは出力できません。

- データ定義でDBタイプに「Oracle」が指定されている場合
- XBRLデータとの対応付けが指定されている場合

(2) 新バージョン Interstage List Creator デザイナで作成した帳票を、旧バージョン製品で帳票出力する場合

帳票出力サーバ側の旧バージョン製品のサポート機能の範囲内でのみ使用できます。機能レベルの低い方の機能範囲で使用してください。

例えば、新バージョンのInterstage List Creator デザイナを使用して、旧バージョン製品でサポートしていない機能を定義した帳票を旧バージョン製品で出力しようとすると、エラーとなります。

7. IPv6について

(1) IPv6のグローバルユニキャストアドレス、ユニークローカルユニキャストアドレスのみが使用できます。

(2) IPv4とIPv6が混在したネットワーク環境（デュアルスタック環境）において、リモート帳票出力の帳票出力サーバがList Creator V9.3.0以前の製品の場合は、アプリケーションサーバからIPv4で通信するために帳票出力サーバのIPv6設定を無効にするか、もしくは通信対象の帳票出力サーバのコンピュータ名にIPv4アドレスを指定してください。

(3) Interstage Print Managerと連携して高信頼印刷を行う場合、メッセージ通知先としてIPv6アドレスおよびIPv6ホストを指定することはできません。

Print Managerのネットワーク環境については、ご利用のPrint Managerに添付のオンラインマニュアルをご確認ください。

Copyright 2023 Fujitsu Limited

[Workstation機能の場合]

(1) IPv6のグローバルユニキャストアドレス、ユニークローカルユニキャストアドレスのみが使用できます。

(2) Interstage Print Managerと連携して高信頼印刷を行う場合、メッセージ通知先としてIPv6アドレスおよびIPv6ホストを指定することはできません。

Print Managerのネットワーク環境については、ご利用のPrint Managerに添付のオンラインマニュアルをご確認ください。

8. 仮想環境について

(1) VMwareでの動作について

- vMotion/HA/DR/FT

  分散出力型の運用形態は未サポートです。スタンドアロン型の運用形態はサポートしています。

  仕掛中の帳票出力の結果は保証しません。

- HA/DR/FT

  単独のシステムの範囲でサポートしています。

  仕掛中の帳票出力の結果は保証しません。

- クローニング

  コネクタ連携の場合、クローニング後に、コネクタ連携セットアップコマンドの実行が必要です。

  仕掛中の帳票出力の結果は保証しません。

(2) Hyper-Vでの動作について

- ライブマイグレーション/クイックマイグレーション/Hyper-Vレプリカ/インポート,エクスポート

  分散出力型の運用形態は未サポートです。スタンドアロン型の運用形態はサポートしています。

  仕掛中の帳票出力の結果は保証しません。

(3) KVMでの動作について

- ライブマイグレーション

  分散出力型の運用形態は未サポートです。スタンドアロン型の運用形態はサポートしています。

  仕掛中の帳票出力の結果は保証しません。

- クローニング

  コネクタ連携の場合、クローニング後に、コネクタ連携セットアップコマンドの実行が必要です。

  仕掛中の帳票出力の結果は保証しません。

9. Windows Server 2019およびWindows Server 2022での印刷性能について

Windows Server 2019およびWindows Server 2022から印刷操作を行うと、Windows Server 2016に比べ、帳票内の文字数に応じて印刷データを生成する時間が数倍になることがあります。

複数のプリンターに多重で印刷を行うと、印刷データの生成がプリンターの印字性能に間に合わずページ出力が間欠する影響が考えられます。

詳細については、「関連URL」に記載の「ソフトウェア：富士通（Interstage List Creator）」内の問い合わせ窓口までお問い合わせください。

10. 前版との差異について

V11.1.0より、Windows 8.1での利用は保証していません。

Copyright 2023 Fujitsu Limited

関連URL

お客様向けURL

- **ソフトウェア：富士通（Interstage List Creator）**

  本商品の詳細は、以下のホームページを参照してください。
  https://www.fujitsu.com/jp/software/interstage/listcreator/

- **ソフトウェア：富士通（ソフトウェアの一覧表（システム構成図）と各種対応状況）**

  価格/型名の一覧（システム構成図）を提供しております。
  https://www.fujitsu.com/jp/products/software/resources/condition/configuration/

- **ソフトウェア：富士通（インフォメーション&ダウンロード）**

  「ライセンスについて、くわしく知る」の項で、富士通製ミドルウェア製品のライセンスに関する解説、サポートポリシーなどの情報を提供しております。
  https://www.fujitsu.com/jp/products/software/information-download/

Copyright 2023 Fujitsu Limited